

こくごのかだいについて

2ねんせいのみなさん、げんきですか。ぜんかいのかだいは、がんばることができましたか。先生たちは、みんなにあえなくてさみしいです。でも、きょうは、みんなががんばったかだいを、どんな字をかくのかな、どんなことをかいているのかなど、たのしみにしていました。どうぞからだにきをつけて、げんきですごしてくださいね。

□「ふきのとう」

- ①音どくのれんしゅう(すらすらよめるようになるとかっこいいです)
- ②「ふきのとう」ワークシート3まい(先生の出したクイズにこたえられるかな?)

□「うれしいことば」60ページ～61ページ

- ①うれしいことばをたくさんあつめましょう。
- ②1ばんうれしいことばをきめて、そのことばが【どんなとき】に【だれ】からいわれて、
【おもったこと】はなんだったかを、ワークシートにかきましょう。
- ③うれしいことばについての文をかきましょう(お手本がうらにあります)。

□「くりかえしかんじドリル」

- ①さいしょのページ「タマとポチのたのしいかん字パズル」を、ドリルにかきこみましょう。
- ②④たしかめ「まちがえやすい一ねんせいのかん字」を、ドリルにかきこみましょう。

□「ことばあそびをしよう」P127

- ①「あいうえお」をつかって、文をつくりましょう。
 - ②「あかさたな」をつかって、文をつくりましょう。
- ※きょうかしょやお手本を見て、文をつくりましょう。

□につき

153ページ154ページのことばのたからばこのことばをつかって、につきをかきましょう。

※につきは、学校がはじまってから先生に見せてくださいね。たのしみにしています。

□音どくカード

※音どくカードはしぎょうしきの日にくばったものの上にはりつけましょう。

せいかつのしゅくだい

□じぶんだけのじかんわりをつくろう

じぶんだけのじかんわりをつくってみよう。こんどは、できるだけじぶんでつくってみましょう。

♪おさんぽ

♪おひるね

♪あそび(おえかき・テレビ)

♪ひとやすみ

♪こうていかいほう

なども入れながら、こくご・さんすう・せいかつ・ずこう・どうとくなどのしゅくだいにちょうせんしてください。

♪のじかんわりばかりにならないように、きをつけてくださいね◎

□どんなやさいをそだてたいかな(ワークシート・見本はうらにあります)

そだてたいやさいをひとつきめて、ワークシートに、「なにをえらんだか」「えらんだりゆう」「そだったら、どんなふうにたべたいか」をかきます。えもかいてください。

※学校がはじまつたら、なえをうえたいとおもいます。たのしみですね。

★6月もおすすめのやさいのなえ(虫がつきにくく、びょうきになりにくい)

ピーマン・ナス・しとう

ミニトマトもちろんだいじょうぶです。でも、ミニトマトをうえるのに1ばんいい月は5月なので、おうちの人とそだんしてみてください。

★そだてるのがむずしいやさい(虫がつきやすい、びょうきになりやすい)

えだまめ・きゅうり

□みんなのことをおしえてね

①じこしょうかいカードをかく

②しりたいなカードをかく

どうとくのしゅくだい(できたら)

「ぎんがせんとうパンダくん」金曜9:10~9:20

「しん・ざわざわ森のがんこちゃん」金曜9:00~9:10

などを、みてください(おうちの人とそだんして、時間割に組み込むなどしてみてください)。

さんすうのしゅくだい

□「時計を生活にいかそう」ワークシート

きょうかしょを見て、もんだいにこたえましょう。わからないところは、おうちのひととかんがえてみましょう。どうしてもわからないばあいは、わかるところだけでもだいじょうぶです。

ずこうのしゅくだい

□「アートバスたんけんたい」

①くばられたアートバスになまえをかぎましょう。

②アートバスのとうめいなぶぶんをおうちの中のテーブルやカーテンなどにあててみましょう。

どんなもようになるかな。

③ワークシートにとりくみましょう。



今回の図工の家庭学習は、鑑賞の取組です。絵もかきませんし、工作もしません。身の回りにある形や色などの面白さや楽しさ、よさに気付くことをねらっていますが、こういった経験が、何かを描いたり、つくったりするときの土台にもなります。

今回はアートバスカードという資料を使って、お家の中を探検してもらいます。詳しくは右側に記載しましたが、もしかすると、この家庭学習を通して新築の際やリフォーム、部屋の模様替えの際などに、お家の方がこだわった壁紙や床材、家具・家電などのデザインや材質などにお子さんが気付くかもしれませんし、その時のことを思い出されるかもしれません。

用意するもの（お子さんが用意できたかご確認をお願いします）

- アートバス カード（画用紙にバスの絵）
- アートバス ワークシート
- 色鉛筆 など
- 鉛筆・消しゴム

家庭学習の流れやポイント

1. 「アートバス」を見てみよう。

穴の開いた「アートバス」は、そこから見えるものが、「バスのデザイン」になっている…という設定で作成しています。普段、何気なく目についている形や色も、このカードを通してみると、クローズアップされて目にうつります。お子さんと「どんなデザインのバスが生まれるか」楽しみながら取り組んでください。きっと、お子さんならではの視点があると思います。その時には、「なるほど！」「よく見つけたね！」「それは、気が付かなかったよ！」などと声をかけてください。一人で取り組めるようになったら、安全面、行ってはいけない場所などの約束事をしてから、「すごいの見つけたら教えてね」などと、あたたかく見守ってください。きっと、すてきな報告があると思います。

2. ワークシートをつかってはなそう。

今回の活動の大きなねらいは、**身近な形や色に気付くこと**です。この活動をたっぷりと楽しんで、それをお家の人にお話する…そのことを大切にしてください。ワークシートには、3つのミッションを載せました。アートバス体験をたっぷりと楽しんでからこの3つに取り組んでいただければと思います。それぞれのねらいは、形・色・イメージに気付くこと…になっています。お子さんが、それぞれのミッションを達成したら、話を聞いていただきたく思います。

1と同じように、たくさんほめてあげてください。「できたよマーク」は、きれいに塗ることが目的ではないので、はみ出してもあまり気にしなくて良いです。それよりも、その色を選んだ理由や塗り方にこだわりがあるかもしれません（もちろん、なくてもOKです）。そして、「楽しかったね！」と笑顔で締めくくっていただければと思います。

アートバス たんけんたい

「二年生のみなさん、
さあ よこすか アートバス に のってください！」
このアートバスは ふしぎな バス です。

アートバスを 見てみよう。そのばしょ そのばしょ
で、どんどん もようが かわるよ。

この アートバス に のって、おうちの中を たんけ
んしてみよう。
どんなもようが見つかるかな。

よういするもの (よういできたら、□に○をかこう)

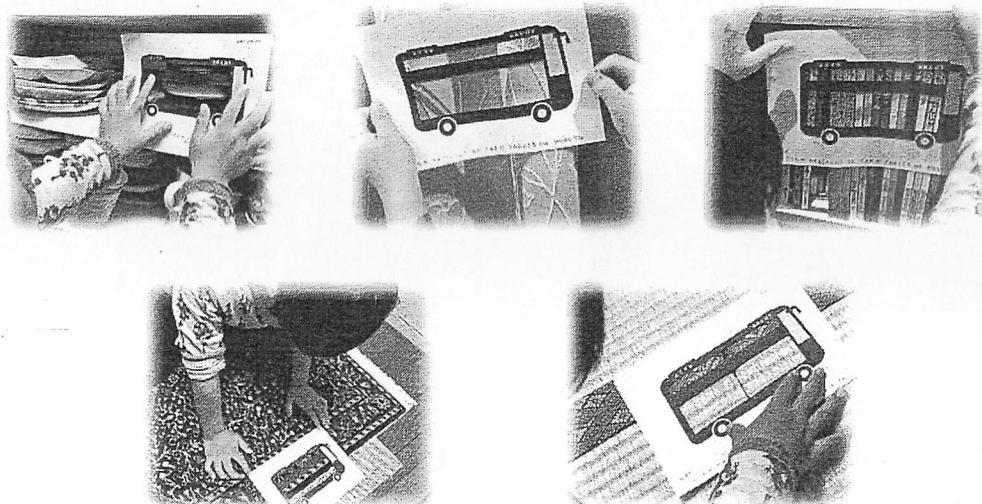
- アートバス カード
- アートバス ワークシート
- いろえんぴつ など
- えんぴつ・けしごむ

かてい学しゅうの ながれ や ポイント

1. 「アートバス」を 見てみよう。

(1) はじめに「アートバス」になまえをかきましょう。

(2) 「アートバス」のかべは、とうめいになっ
て いるよ。おうちの中の テーブル や カーテン、
あなたの 本 やたいせつなもの の まえでは
どんな 「アートバス」に なるかな。



2. ワークシート を つかって はなそう。

(1) ワークシートには、ミッションがあるよ。
ミッションをたっせいできたら、
「できたよ」マークをぬりましょう。

(2) このべんきょうで かんじたことや おもったこと、
かんがえたこと を、おうちの ひとつに
つたえましょう。